

高野川下流域における浸水被害

市街地の地盤高が低いため

- ① 高野川の堤防を洪水、高潮が超える「**越水**」
- ② 高野川から排水路等を通じた市街地への「**逆流**」
- ③ 高野川に雨水が排水できないことによる「**内水**」
などの要因が複合的に重なって発生

*平成 30 年度から 工期を 5 年短縮

平成 16 年の台風 23 号と

同規模の洪水に対して床上浸水被害が解消

資料 1



京都府

ハード対策として

①堤防のかさ上げ、河道掘削、護岸整備など
高野川本川堤防からの**越水対策**
(約1.5 km)

②護岸等のかさ上げ、静溪川合流点の臨港
道路嵩上げなど河口部の**高潮対策**

メリット

- ① 国際的に遅れをとった「**読解力の向上**」
- ② プログラミング教育の「**効果**」
- ③ ICT の活用で「**教員の長時間労働の抑制**」
- ④ 地域環境や所得などによる「**教育格差の解消**」
- ⑤ インターネット利用による「**授業の幅の広がり**」等

デメリット

- ① 最新モデルに「**買い換えが難しい**」
- ② SNS などの「**トラブルに遭いやすい**」
- ③ 「**遊びと学習**」が曖昧になる等

令和 7 年度「全国学力テスト」の結果

フリップ 4

＊いずれも前回の結果を下回る

教科ごとの平均正答率

小学校 国語が **67%** 算数が **58.2%** 理科が **57.3%**

中学校 国語が **54.6%** 数学が **48.8%**

問題ごとの傾向

「記述式」の問題の平均正答率がすべての教科で低い

例) 小学校の算数（分数の意味を記述式で解答する問題）

正答率 **23.3%** 無回答率 **15.6%**

ICT教育の健康への影響

- ① 視力低下やドライアイなど視覚への影響
- ② 肩こり、頭痛など筋骨格系への影響
- ③ イライラ、不安などの心理的影響
- ④ 疲労など

➡適度な休憩や長時間使用を避ける

＊さらに、2023 年から報告され始めたモノを見る時に
片方の目が内側に寄る「内斜視」の発症

デジタル教育の特徴

(教育学が専門の京都大学大学院の石井英真准教授による)

デメリット

- ① 中毒性を持つぐらい引き付けられるが、
分かったつもりになる側面がある
- ② 情報がありすぎて、脳が疲れているような影響が出る
- ③ 異質な他者との対話みたいなもの(討論など)が弱くなる

アナログ的に

- ① ゆっくり回り道したり、立ち止まって
ものを考えたりすることも大事
- ② ノートへの手書きは、全身運動で定着しやすく残りやすい

＊デジタルとアナログの本質を見極め、両方を上手に使う

ICT 教育への 4 つの提案

- ① どう使うか・使わないことも含め
判断を指導者である教員にゆだねる
- ② ICT による子どもたちの
健康や発達が悪影響の研究と対策を進める
- ③ デジタル教科書の扱いは慎重に検討する
- ④ 教師の負担軽減のために ICT 支援員の増員

資料 2



資料 2

